整理番号

ＡⅡ－３　　3586

標題名

新撰農作物病害図説明　第１輯

著者名

堀　正太郎、西田藤次

製作年月

2012年3月

農商務省農事試驗場九州支場圖書
所屬 第 [illegible] 四五號

農商務省農事試驗場病理部長 農學士理學士 堀正太郎
農商務省農事試驗場技師 農學士 西田藤次 著

新撰

農作物病害圖說明

第一輯

東京 成美堂發行

農商務省農事試驗場九州支場圖書
書名 新撰農作物病害図
著者 堀正太郎 外一人
病 五 軸部 内 冊一号

本圖教授用參考書及教科書

農商務省農事試驗場病理部長
農學士 理學士 堀 正太郎先生 著

農作物病學

全一冊

○密畫三十餘圖挿入
定價金壹圓六拾錢
小包料金拾錢

植物病理學の著書已に二三を數ふるに至れりと雖も農作物病學の著書に至りては本書を措て未だ他に是れあるを聞かず前者は植物全體に亘りて其病害を論ずるものにして之が救治法の如き應用的事項に至りては全く其範圍外に屬す偶々病理學なるものゝ本領を逸して救治法を附記するものあれども皆迂遠にして實地の應用に適せず徒に一の蛇足たるに過ぎざるもの多し本書は農作物の疾病を論じ特に適切簡易なる豫防救治の方法を詳述せるを以て本書の眞價は實に茲に有りて存す農作物は本書ありて初めて安全に栽培し得らるゝものと云ふべし

農作物病學教科書

全一冊

○密畫三十餘圖挿入
定價金七拾五錢
郵税金八錢

堀學士多年研究の結果著はされたるもの本書載するところ總論、農作物の養生及衛生、殺菌劑、醫療機械類、農作物病害各論の五編とし之れを各章各項に分ちて論じ特に各論に於ては穀類、蔬菜、特用作物、果樹の四章に類別し各病害に就きては其病名、病徵、病原、豫防方法等を簡易明述せらる故に農學校及農事講習教科書として最も適當なり

寄贈図書
農業技術研究所

農商務省農事試驗場病理部長 農學士理學士 堀正太郎
農商務省農事試驗場技師 農學士 西田藤次 著

新撰

農作物病害圖說明

第一輯

東京 成美堂發行

植物防疫資料館図書之印

目次

一、麥赤澁病圖解　一
二、馬鈴薯疫病圖解　七
三、桑紫紋羽病圖解　一三
四、稻熱病圖解　一九
五、梨赤星病圖解　二五

麥赤澁病圖解

ムギノアカシブ

一、被害麥の一部分を示したもので、葉片には無數に蕃殖胞子の集團を生じて一面に橙黃赤色になつて居る。葉鞘には少し許の蕃殖胞子と終局胞子との集團が出來て居る。

二、葉面に生じた蕃殖胞子の集團を大きくして見た圖。

三、葉面に生じた蕃殖胞子の集團を縱切にして見た圖。

四、蕃殖胞子と其發芽の模樣とを示した圖。

五、葉鞘の表面に生じた終局胞子の集團を示した圖。

六、前者を縱切にして大きくして見た圖。

七、種々の形をした終局胞子と其發芽の模樣とを示した圖。

この病は「プクシニア、グルーマールム」(Puccinia glumarum, P. Henn. et Eriks.)といふ害菌から起るのである。雨勝の天氣打續けば窒素質肥料の施し方多過ぎて生育の軟弱なる麥は特に發病し易い。大小稞麥共に皆この病に罹れども小麥は特に甚し。

病氣の起り初めには葉に淡黃色の小さき斑點が無數に顯はれる。此斑點は段々赤味を帶び、又橢圓形に膨らみ、遂に破れて橙黃赤色の粉を散らす。その發生の多き時は葉面は一體に橙黃赤色となる(第一圖及第二圖を見よ)。此粉は赤澁病菌の蕃殖胞子といふものにて、飛び散りて麥の葉に附着したとき、濕氣を得ると芽を出して(第四圖)葉肉中に侵入して病害の蔓延を計るものである。

蕃殖胞子の飛び散る頃になると、被害葉の裏側と葉鞘の表面とに、胡麻粒位の大さなる黒き斑點が澤山に顯はれる。此斑點は一つ一つ離れて居るのもあるけれども、時としては互に連りて細長き黒き條をなすことがある。併し蕃殖胞子の斑點の樣に膨らむことなく、又破れて粉を散らすことがない。多くの人はこの斑點に氣が付かないけれども、これは赤澁病菌の終局胞子が出來たのであつて、此胞子は冬を凌ぎて越年をする休眠胞子である。第五圖は此終局胞子の斑點を示したもので、第六圖と第七圖とを見れば胞子の出來工合と其形とが想像される。

豫防法、成るべく麥を丈夫に作ることが肝腎であるから左の方法に注意しなければならぬ。

一、種子には鹽水撰を行ひ、重き大粒のものを、その地方に最も適當な時期に播くべし。

一、肥料は窒素質のもののみを澤山に施してはならぬ。必ず草木灰と燐酸肥料とを適度に施すことにしなければならぬ。

一、稈の丈夫な種類を撰びて作るが宜しい。

一、圃地の排水と、風通しと、日當りとに注意すべし。

馬鈴薯疫病圖解

一、被害葉を示したもので、裏面の白色なる部分は病菌の發育した所である。

二、被害薯の圖。

三、葉の氣孔から抽出した擔子梗と、擔子梗の上に生じた胞子との圖。

四、胞子の發芽して游走子を生ずる狀を示した圖。(イ)發芽前の胞子。(ロ)胞子の内容物が分裂して游走子を生ぜんとする狀。(ハ)胞子の内容物が全く游走子に分裂して外に游出する狀。(ニ)游走子が鞭毛を以て游泳する狀。(ホ)鞭毛を失ひて靜止した游走子。(ヘ)靜止した游走子の發芽する狀。

五、水中にて發芽した胞子より第二胞子を生ずる狀。

この病は馬鈴薯の病害中最も恐ろしき傳染病であつて「フィトフトラ、インフェスタンス」(Phytophthora infestans, (Mont.) De Bary)と稱ふる害菌より起るのである。葉に病氣が起つた時には、葉面に點々大小の斑點が顯れる。この病斑部は後に褐色となりて腐敗し、乾けば黑褐色となる。今病斑の出來た葉を裏返しにして見ると、若し病斑が出來初めであつて、非度く變色して居ないものであるならば、一面に白き黴が生へて居るのが見えるけれども、病斑が少し古くなりて、葉の組織が非度く傷んで居るものであると、唯病斑の周圍に許り白黴が見ゆる。これが本病の特徵である(第一圖)。此白黴は卽ち疫病菌である。病菌は葉の氣孔より擔子梗といふ枝の樣なものを空氣中に抽出して、それに胞子が出來るのである(第三

圖)。胞子は熟すると風に吹き散らされ、無害の葉に落ちると病害を蔓延する。又その地面に落ちたのは土の間を潜りて薯に病氣を起すのである(第二圖)。

豫防法。

一、表面に暗褐色なる病斑のない、無害の種薯を撰びて植ゆべし。

一、病氣は春作ならば五月上旬頃、秋作ならば九月中旬頃より起るものであるから、發病する期節より一二週間前に、先づ二斗式「ボルドウ」液を葉に萬遍なく撒布すべく、爾後十日乃至二週間隔に、二三回の撒布をなすべし。

一、肥料は窒素質肥料の外に、必ず草木灰及燐酸肥料とを施すことにすべし。

一、葉に發病の徴候が見えたならば、直ぐに根元に厚く覆ひ土をなして、薯の被害を防ぐの工夫が肝腎なり。

一、薯を貯藏するには木灰か又は石灰を充分に撒布して、空氣の通ひの好き處に置くべし。

一、被害の莖、葉は刈取り燒き捨つべし。

桑紫紋羽病圖解

一、被害桑の圖。幹と根との表面に病菌の網絡して居る狀を示したのである。

二、病原菌の菌絲束を大きくして見た圖。

三、胞子を生じた部分の菌體を縱切にして大きくして見た圖。

四、曲りたる擔子囊の上に四個の胞子を生じた狀を示した圖。

五、三個の熟した胞子の圖。

この病は「スチピネラ、プルプレア」(Stypinella purprea, (Tul.)Schröt.)と稱ふる害菌より起る病害にして、被害は主に根部であるから、初めは其被害に氣が付かないけれども、段々根が枯るる樣になると、桑の勢力が衰へて葉が黃色となり、遂に枯れて仕舞ふのである。それで之を掘り起して植繼をしても、又直ぐに同じ病氣を起して枯れる。又一本に病氣が起ると、段々其近處の樹に傳染をする。被害の桑樹を掘り起して其根を見ると、必ず紫褐色なる綿毛の樣なもの、又は綿絲の樣なものが、根の表面に附着いて居るのである(第一圖)。これは病菌の菌絲であつて、此菌絲は幹の地際の處では、相集りて革又は紋羽の樣に厚くなる。それで紫紋羽病といふ名が起つたのである。胞子はこの菌絲の厚く革の如くになりたる部

分の表面に生ず(第三圖)。此病氣は桑の外種々の農作物、果樹に起るものである。

豫防法

一、被害樹を發見したならば、速に周圍の土を掘り起して根株を露はし、其表面に石灰乳を注ぎて直に土を覆ひ置くべし。

一、被害樹及其近傍の被害の疑ひあるものは一纏にして、周圍に深き溝を掘りて、被害樹の根が無病樹の根に觸れない樣にすることが肝腎である。これが蔓延を防ぐ上に一番大切である。

一、被害甚だしくして恢復の見込なきもの、又は枯れたるものは、直に掘り起して、小根といへども注意して拾ひ

集め、共に燒き捨つべし。

一、病害を免かるゝには、本病の害を被らざる作物を數年間栽培すべし。

桑紫紋羽病圖解

稲熱病圖解

一、被害の稻葉の圖。病斑の表と裏とを示したものである。

二、被害の稻穗の圖。(イ)葉鞘と舌葉部とに生じた病斑。(ロ)穗頸に生じた病斑。

三、葉面に生じた病斑部を縱切にして、數本の擔子梗上に胞子を生じた狀を示す圖。

四、病原菌の胞子と其發芽の狀とを示す圖。(イ)未だ發芽しない胞子。(ロ)上下の二房より發芽して發生管を生じた胞子。(ハ)發芽して發生管の頂に休眠胞子を生じた胞子。

この病は稻に最も普通な病氣であつて、「ピリクラリア、グリゼア」(Piricularia grisea, (Cooke) Sacc.)と稱ふる害菌より起るのである。雨が降り續くと、厚播をして窒素質肥料を多く施した苗代には、苗イモチ病が起り、又本田に窒素質肥料が多過ぎると肥イモチ病が起り、又冷かなる水が流れ込む口の稻には冷イモチ病が起り易い。總て被害の稻には葉の表に先づ楕圓形の斑點が出來る。之を裏返して見ると暗綠色の黴が生へて居る。之が病菌である(第一圖)。此病斑は濕りた天氣が續けば段々大きく擴がるから、葉は遂に枯れて火にて燒いた樣になる。又稻の穗頸に發病することがある。これを穗頸イモチ病といふ。

豫防法。 乾きて熱き天氣が續けばこの病は起らないけれ

ども、雨が降り續くと生育の弱い稻には必ず發病するから、稻を丈夫に作ることが第一の豫防法である。それで左の點に注意するのが肝腎である。

一、苗代には、鹽水撰をして沈んだ重き種子のみを、一步四五合位の割合に播くべし。

一、苗代には苗の移植期に其葉が少し黃色を帶びて肥不足の模樣が顯はるゝ位の度合に肥料を施すべし。決して多量に施すべからず。

一、本田に窒素質肥料のみを澤山に施して、加里質及燐酸質肥料の施し方が少いと、特に發病し易いから、肥料の配合に注意することが最も肝腎なり。

一、下水の流れ込む水田には特に窒素質肥料の施し方を

減じて、燐肥及草木灰を充分に施すべし。

一、雨天又は曇天が續きて氣候が冷かな時には草取の回數を增し、又蟹爪打等をなして地溫を高むる工夫をなすべし。

一、冷水は直に水田中に流れ込まぬ樣に、一旦溜に引き入れ、溫まりたる後に流れ込む樣に工夫すべし。

稻熱病

梨赤星病圖解

一、梨の葉と果實とに赤星病を發生した狀を示す圖。(イ)葉の表面に精子點(數多の精子器の集りたるもの)を生じた狀を示す。(ロ)果實の表面と葉の裏面とに病原菌の子腔を生じた狀を示す。

二、被害葉を縱切にした圖。(イ)精子器及精子器より漏出した精子。(ロ)葉肉中より生じた子腔。

三、(イ)精子。(ロ)腔胞子。

四、ビヤクシンの幹と葉とに、赤星病菌の終局胞子の集團を生じたる狀を示す圖。

五、終局胞子と其發芽の狀とを示す圖。(イ)集團の外側に生じたる被膜厚き終局胞子。(ロ)集團の內部に生じたる被膜薄き胞子。胞子柄が溫氣を吸收して膨れたる狀を示す。(ハ)上下の二房より發芽して先菌絲を生じ、一本の先菌絲には二個の小子を生じたる胞子。

この病は梨の葉と、時としては果實に起る病氣であつて、「ジムノスポランジウム、ジャポニクム」(Gymnosporangium japonicum, Sydow)と稱ふる害菌から起るのである。病の起り初めには葉の裏面に先づ小さき赤星が顯はれる。これは病菌の精子點といふものである。それからその裏側が段々膨らんで、細長き絲の樣な房が出る(第一圖)。この絲の樣なものは細長き囊であつて、子腔といふものである。其內に胞子が出來る(第二圖)。この赤星が澤山に葉に生ずると、葉が枯れて落ちるから果實が熟しない。

葉の裏面に出來た子腔の中の胞子は風に飛び散る。それが梨の葉に附着しても赤星病は起らぬ。併しビヤクシンやムロの類の樹に附着すると、その組織の中に侵入し、翌年の春

になると赤色の乾天の様なベロベロしたものが生ずる(第四圖)。これが赤星病菌の冬籠をした休眠胞子の集りである。四五月頃になつて雨が降ると、この胞子が發芽して小子と稱ふる小さき胞子を生ずる。この小子が梨の若葉に落ちると赤星病が起るのである。故に梨の樹の近傍にムロやビヤクシンがあると赤星病が多い譯である。

豫防法

一、春花の蕾が綻びかけたときに、先づ二斗式「ボルドウ」液を撒布して、それから果實が小豆粒位になる迄の間、凡そ十日か二週間隔に二斗五升式「ボルドウ」液を撒布すべし、若し右の期間に大雨があつて、藥液が多少流れ落ちたと思ふ時には、雨が霽れるや否や、直に一回の撒布

をなすべし。

一、窒素質肥料の施し方が多過ぎると、被害は特に多いから、草木灰と燐酸肥料とを適當に施すことが肝腎である。

一、梨園の近傍にはビヤクシンやムロを植ゑないことにしなければならぬ。

明治三十七年九月二日印刷
明治三十七年九月五日發行

不許複製

病害圖說明第一輯
○定價金拾五錢

著作者 堀正太郎 東京府巢鴨町字上駒込三百廿番地

著作者 西田藤次 東京市本郷區駒込東片町十六番地

發行兼印刷者 河出靜一郎 東京市日本橋區通三丁目十番地

印刷所 合資會社東京國文社 東京市京橋區宗十郎町十五番地

發行所 東京市日本橋區通三丁目十番地 成美堂書店 電話本局二七七七番

成美堂發行圖書特約大販賣所

- 岐阜市小熊町 成美堂 三浦源助
- 大阪市東區備後町 集成堂 石井鉤三郎
- 同心齋橋筋南一丁目 文海堂 松村九兵衛
- 同東區備後町四丁目 寶文館 吉岡平助
- 名古屋市本町三丁目 金華堂 川瀨代助

各府縣大販賣所

東京市內各書林

大阪府
- 大阪市 丸屋書店
- 同 柳原喜兵衛
- 同 新農報社
- 同 嵩山堂
- 堺市 北村佐平
- 茨木町 廣旭堂
- 八尾町 ‥成会
- 天王寺町 農事試驗場

京都府
- 京都市 松田庄助
- 同 若林茂一郎
- 同 村上勘兵衛
- 同 松田石敢堂
- 同 河合文港堂

神奈川縣
- 橫濱市 弘集堂
- 同 田沼書店
- 同 丸屋書店
- 橫須賀町 竹川新四郎
- 鎌倉町 林書店
- 小田原町 積善堂
- 平塚町 今井書店
- 戶塚町 柏瀨書店

靜岡縣
- 靜岡市 吉見義次
- 同 勝見儀助
- 大宮町 依田富太郎
- 藤枝町 大石豐吉
- 濱松町 谷島屋書店
- 掛川町 三原屋書店
- 沼津町 蘭契社
- 三島町 村上書店

愛知縣
- 名古屋市 永東書店
- 同 三輪文次郎
- 豐橋町 高須書店
- 岡崎町 伊藤小文司

三重縣
- 津市 豐住謙次郎
- 四日市市 岩田與七
- 山田町 有文堂

岐阜縣
- 岐阜市 郁文堂
- 同 王成堂
- 大垣町 岡安慶介
- 同 平野利兵衛
- 高山町 平田書店

福井縣
- 福井市 品川書店
- 小濱町 吉岡昌太郎
- 敦賀町 山上書店

石川縣
- 金澤市 宇都宮源平
- 同 近田書店
- 松任町 平醉香堂
- 小松町 宇都宮書店
- 七尾町 國田書店

富山縣
- 富山市 中田書店
- 同 晴明堂書店
- 高岡市 學海堂

滋賀縣
- 大津市 古川伊助
- 同 島林久四郎
- 彥根町 廣田七次郎

兵庫縣
- 神戶市 吉岡支店
- 同 日東館

各府縣大販賣所

島根縣

同松江市　同高津町　同梁町

岡山縣

同岡山市　同同山町　同九龜市

香川縣

高松市　同今治町　宇和島

愛媛縣

松山市　同大洲町　近中足立

高知縣

高知市　向土井藏次

德島縣

德島市　同黑田岡崎民書三郎店

和歌山縣

和歌山市　宮井宗兵衛

兵庫

神戸市　姬路市　篠山町　柏原町　豐岡町　洲本町　龍野町

熊木小中石福伏見山谷
本村川倉井浦井富村
縣縣縣縣縣縣縣縣縣
有川田岡傳清助助

武渡仁壺奥
內邊田科朝
宗照金
三次正太
郎郎堂堂

脇仲彌次郎
山芳啓次郎
木野立肥井
村保彌太郎
一郎

書興次郎
中書店
平店

宗兵衛

屋文松正之
書治
店藏造吉助作

福岡縣

福同久留米市

大分縣

大分市　同竹田町　中津町

宮崎縣

宮崎町　同

鹿兒島縣

鹿兒島市　同

山口

山口町　同萩町

廣島縣

廣島市　尾道町　思海町

鳥取縣

鳥取市　同米子町　同

濱田町　同

園安
山達
文共
會榮
堂堂

岡山縣

旭平
日久
兼松
堂堂

島根縣

今平
善玉
館芸
支香
堂店

廣島縣

積兒
松原
館芸
書香
堂店

山口縣

小桂
原川
松愛
梅東
千代
輔吉
堂郎

福岡縣

白井村博
生谷銀
傳文
苑八
堂郎

大分縣

久吉
永田
金幸
兵光
衛

宮崎縣

松津
野井
融貫
堂
堂

鹿兒島縣

甲紙矢
斐屋
治嘉林
平
平

福岡縣

梅
熊津
文
書

福岡縣

積博菊田
善竹中
館金文幸
支文次
社店

茨城縣

水戸市　下妻町　同海道町

群馬縣

前橋市　館林町　富岡町　太田町　高崎市

埼玉縣

浦和町　同鴻巢町　川越町　熊谷町　加須町　粕壁町

佐賀縣

佐賀市　同唐津町

熊本縣

熊本市　八代町

長崎縣

長崎市　同佐世保市

豐津町

石土太
岡浦田
町町町

佐野長
賀原崎
縣縣縣
七三重
郎郎郎
堂吉堂

中邊半
銀
藏

安渡靜
藏助七
堂平堂

長野內
崎子
平次
郎輔

川井德
平壯次
郎治助

藤島ろ
柏雲儀文盛
八化は幸
堂堂堂堂郎堂堂

伊紅明長い高
松藤
堂堂堂吉堂

河平牧
金長
縣縣縣

新樂中木文
村田井
心乎
書書音
堂店吉堂

川高伊宮大新
塚
田沼野又
屋
彌
梧彌清銀
堂

各府縣大販賣所

千葉縣

千葉町　葉金町　東福岡町　北條原町　茂木倉津町　佐原町　佐倉岡町　上野澤町　同諏訪町　同本町　同松田町　長野市　同新町　高那珂町　大遠町　伊飯田町　洗馬町　松代町　新潟市　長岡町　水原町　同新發田町　高瀨町　尼崎町　三條町　柏崎町　地藏堂町

長野縣

多多良木町　多多良町　朝日町　立科町　多多良町　鎌原町　松本町　水内町　西朝陽町　高鷄町　西高井町　日野町　矢代町　福島町　松本町　共和町　都町　西筑摩町　北安曇郡

新潟縣

田屋町　屋眞町　屋正町　屋屋町　順慶町　書一支店　文支本店　支太店　書林榮堂　支琴書店　喜陽館　澤見堂　澤定信　澤新店　島本堂　澤筑明　支次書店　支書店　田本店　野田店　田田舍　桑口店　島藤橋堂　松村清光　張黑六治十　書三支　藤儀書店

福島縣

直江津町　糸魚川町　六日町　佐渡原町　宇都宮市　栃木町　足利町　栃木町　同福島町　郡山町　二本松町　中村町　白河町　小高町　若松町　同石川町　盛岡市　福一之町　遠野町　盛岡市　山形町　米澤市　鶴岡町　酒田町　新橋町　同秋田市

栃木縣

目黒山　道貫村　中山田　木屋大　井野岳　野村屋　木村啓　上野誠　至善次　磐梯書　吾妻書　佐藤文　藤屋傳　藤庄書　木中黑　鈴木儀　與佐兵　吉澤書　陽文惣　田小書　近佐八　玉造盛　五牧吉　大白川堂　喜見堂　日向德　盛岡書　牧野太　泉崎源　早善善　島見開　成兵衛

群馬縣

島村　柿本人丸　内藤書　永井堂　青木造　堂店　七郎店　平堂店　平堂衛　店郎衛　店店　店郎　店助　店助　店助　店郎　平郎　店店

埼玉縣

横手町　同増田町　本庄町　谷村町　甲府町　仙臺町　古川町　角田町　白石館　同築館　弘前町　青森市　八戸町　同札幌　同函館　同小樽　同江差　根室　同首里　那覇　臺南　臺北　澎湖島

青森縣

宮城縣

北海道

沖繩臺灣

大高龍博　灣小豐　縣西山白川　一魁富萱　道伊今今　縣島安雲高佐藤　縣齋大　縣富東東大

武橋　澤盛　堀本鳥南　間泉吉泉　山藤森山　々崎木祐　藤塚　田海海澤

澄市泉文　博久　書愛　二文貴左　道屋　商支次　源榮書書　榮之之　由柳　三林林鮮

湖之堂丞堂堂　堂店　次利書重　右　店店郎　作藏店店　進助　太正　次書支進

郎輔店祐堂　舍堂堂太　郎堂　郎店店堂

病害圖と姉妹の關係を有する害蟲圖

農商務省農事試驗場昆蟲部長農學士小貫信太郎先生著

新撰 農作物害蟲圖

第一輯 四軸

稻作害蟲 第一 二化螟蟲 第三 せしろうんか
第二 三化螟蟲 第四 つまぐろよこばい

第二輯以下續刊

本圖畫く所の米作四大害蟲は各蟲の雌雄其自然の狀態、翅脈、幼蟲の各齡、冬期潛伏の狀態、卵、被害作物等にして實物と寸毫の差なく小貫農學士多年苦心の決果襄に農商務省より第五回博覽會に其摸型を出品せられ非常の好評を博せしものなり弊堂其原圖を得更に同氏に就き其校正を求め完美なる極彩色刷となし發刊することゝなしぬ故に該圖に就ては一點の誤謬なきは勿論現今數多の同種畫中の最も上乘なるは疑なしされば各種の學校農會等には缺く可からざるは勿論己人の書齋の裝飾として用ふるも頗る趣味あり

○縱四尺三寸 橫二尺九寸

第一輯 表裝四軸 定價金五圓
說明書 定價金拾五錢
遞送費 金參拾錢

害蟲圖敎授用參考書及敎科書

農商務省農事試驗場
昆蟲部長農學士
小貫信太郎先生著

實用昆蟲學

全一冊　密畫三百圖插入
定價金壹圓六拾錢
小包料金拾錢

本書は本邦に於ける重要なる害益蟲を區別して分類的に編纂し併せて其經過增殖及び豫防驅除方法等を詳說し各目の終りに簡易なる科名索引表を附したり故に本邦害蟲編として看るべく又益蟲編として看るべし從來本邦農作物害蟲編は已に出版せるものあれども農作物以外の害蟲及益蟲に論及せるは本書の特色なりとす故に農事巡回技師其他害蟲の驅除豫防に關する當局者、農學校、中學校の敎師諸君は勿論總て昆蟲學を研究せらるゝ諸君の好參考書たるを信ず

農用昆蟲學敎科書

全一冊　密畫百十餘圖插入
定價金七拾五錢
郵稅金八錢

本書は農學校敎科書に適せしめんが爲めに著されしものにして昆蟲の何物たるを知らしめ害蟲、益蟲、有用蟲を解きて昆蟲の分類法を述べ害蟲各論に入りては一々其の經過圖を挿入して稻、麥、大豆及蔬菜、桑、藍、貯藏物、果樹、蠶等の害蟲を詳說して發生經過及驅除豫防法の一斑を知らしめ又特に內部の主なる機關及昆蟲の增殖を記し又全般に亘る驅除豫防法を講じ終に昆蟲の採集及製作法を附せられたれば昆蟲學の初步を學ぶもの、參考として亦一讀するを要す

農學士木元長太郎先生編

農產製造教科書

美製本　全一冊

定價金八拾五錢
郵稅金拾錢

高等師範學校教授農學士佐々木祐太郎先生著

土壤教科書

美製本　全一冊

定價金六拾錢
郵稅金八錢

高等師範學校教授農學士佐々木祐太郎先生著

肥料教科書

美製本　全一冊

定價金六拾錢
郵稅金八錢

高等師範學校教授農學士佐々木祐太郎先生著

土壤肥料教本

美製本　全一冊

定價金五拾錢
郵稅金八錢

最新刊農學校教科用書

農用昆蟲學教科書

農事試驗場昆蟲部長農學士小貫信太郎先生著

美製本　全一冊

定價金七拾五錢
郵稅金八錢

農作物病學教科書

農事試驗場病理部長農學士堀正太郎先生著

美製本　全一冊

定價金七拾五錢
郵稅金八錢

新編農業經濟教科書

高等農學校講師農學士石坂橘樹先生著

美製本　全一冊

定價金七拾錢
郵稅金八錢

農業法規教科書

高等農學校講師農學士石坂橘樹先生著

美製本　全一冊

定價金
郵稅金

最新刊農學校教科用書

農科大學助教授農學士上野英三郎先生著

農用工學教科書 土木篇

美製本 全一冊 定價金七拾錢 郵稅金八錢

農科大學助教授農學士上野英三郎先生著

農用工學教科書 農具篇

美製本 全一冊 定價金 郵稅金

農科大學助教授農學士上野英三郎先生著

農具教科書

美製本 全一冊 定價金五拾錢 郵稅金六錢

農科大學助教授農學士上野英三郎先生著

農業土木教科書

美製本 全一冊 定價金六拾錢 郵稅金八錢

農科大學助教授農學博士澤村眞先生編

初等農藝化學教本

美製本　全一冊

定價金六拾錢
郵稅金八錢

置賜農學校舍監佐藤益助先生編

果樹栽培教科書

美製本　全一冊

定價金五拾五錢
郵稅金八錢

高等師範學校教授農學士佐々木祐太郎先生編

補習教育 農業讀本

全三冊

定價金
郵稅金

日本女子大學教授高島平三郎先生編

國民新教本

全二冊

乙種 定價金貳拾五錢
甲種 定價金貳拾八錢
郵稅各冊金四錢

農學博士恒藤規隆先生著

日本土壤論

美本全壹冊
紙數三百六十餘頁
定價金壹圓四拾錢
小包料金拾錢

一、日本土壤ト氣候、土壤ト地勢及地質ノ關係、各系統土壤ノ頒布及其廣袤
二、土壤試驗法、洗滌及化學分析、養分吸收力及理學性試驗、日本土壤ノ分類
三、本邦各地各系統土壤ノ試驗成績、肥瘦、農作種藝ト ノ關係、土性改良
四、日本土壤ノ生產力、全土ト耕地幅員、耕地ノ廣袤及其地力、原野ノ開拓
五、各系統土壤ト肥料ト ノ關係

著者ガ二十有五年間帝國ノ土壤ニ就キ實踐研究セシ結果ニ徵シ其要領ヲ論述サレタリ之レ實ニ**空前**ニシテ未ダ嘗テ**日本土壤**ニ就キ其實質ヲ明說セシモノナカリシハ我實業ニ將タ我敎育ニ一大缺點ナリシ凡ソ時局ノ進運ニ伴ハントセバ一般土壤ニ係ル知識ヲ具スル以テ足レリトセズ必ズヤ其邦國ノ土壤ノ實況特性ヲ領得セザルベカラズ然ラザレバ實業ニ效益ナク敎育ニ其實ヲ缺キ子弟ノ前途ヲ過マルモノト云フベシ本書ハ則チ其須要ヲ充スヲ以テ敎育家學生諸士ハ勿論苟モ農界ニ身ヲ處スルノ士ハ必ズ一讀福利ヲ期スベシ

農科大學教授林學博士川瀨善太郎先生著

林政要論

美紙數五百八十頁　製本全一冊
定價金壹圓卅錢
小包料金拾五錢

本書三編より成り○第一編（國家經濟上に於ける森林の關係）は森林の直接利用即ち林業の經濟的關係殊に之が較利を詳論し次に森林の間接利用として無形的國土保安の關係を說論せり○第二編（森林の所有）に於て先づ森林の所有及林業の沿革に付往古より近代に至る獨逸及我國の森林歷史を叙し之が林業經營に關する點及び各種の森林の所有に付き其利害得失を廣く諸學說に照らして詳論し○第三編（森林に對する政府の任務）卽ち林政の各論として保護林、森林警察、森林刑事、林役權、林地整理及分割制限、林業組合、營林監督、森林教育、森林試驗場、森林統計、森林會、木材關說、木材貿易、等に關する事項を詳說し且つ一々之が立法例を揭ぐ

大日本農會幹事
高等農學校講師農學士石坂橘樹先生著

最近農業經濟論

美紙數六百六十餘頁　製本全一冊
定價金壹圓八十錢
小包料金十五錢

本書先づ總論に於て農業經濟の本體及農業經濟遂行の方針を說明し農業の企業經營の基礎たるべき觀念を與へ本論に入りて之が觀念の應用法を述べ如何にせば農業經濟の目的を達すべきかを闡示し況く農業經濟學の理論と實際に亙て近世國民經濟時代に於ける農業者の採るべき農業經濟界の事項に關する解釋を試みられたり著者多年斯學を專攻し餘暇筆を駈て世人の研鑽に資せんとして本書を成せり

農商務省農事試驗場病理部長 農學士 理學士 堀 正太郎先生著

農作物病學

美製全一冊紙數三百頁
▲密畫三十餘圖插入
定價金一圓六十錢
小包料金十錢

堀農學士多年研究の結果著されたるもの本書載するところ總論、農作物の養生及衛生、殺菌劑、醫療機械類、農作物病害各論の五篇とし之を各章各節に分て詳論し特に各論に於ては穀類蔬菜等特用作物果樹類の四章に類別し各病害に就ては其病名、方言、病狀、病原、豫防方法等を詳述せらる農作物の健康は本書に依りて始めて保全せらるゝを得べし

農商務省農事試驗場昆蟲部長 農學士 小貫信太郎先生著

實用昆蟲學

美製全一冊紙數三百頁
▲密畫三百圖插入
定價金一圓六十錢
小包料金十錢

本書は小貫農學士の研究に成れる結果本邦に於ける重要なる害蟲及益蟲を分類し昆蟲外部の構造及內部の機關を說明し各蟲に就て其經過圖を插入し以て增殖及驅除豫防方法等を詳說し又各目の終りに科名索引表を附せり而して卷末には全般に亙る驅除豫防の器械藥品及飼育法等を以てすされば昆蟲學研究上實に無二の完璧たり

帝國農科大學教授 農學博士鈴木梅太郎先生
愛知縣農事試驗場技師 農學士高林盛基先生合著

最近煙草論

美本全一冊 紙數三百九十頁
石版極彩色四葉及畫四十餘挿入
定價金壹圓五十錢
小包料金十錢

煙草を喫むものは多い、しかも其煙草なるものが、いかなる沿革を有し、いかなる法度に支配され、いかなる土地に產し、いかなる肥料を用ひ、いかなる植付法により、いかなる風にて收穫され、いかなる化學的作用を持つかといふことや、或は煙草の酵素、煙草の一般の生理、その含有の物質、その成分、各種の試驗、煙草葉に粒を發生することや、諸成分の變化、撒汁法、煙草の香氣の妨害、褐色發生の原因、色素原質、醋酵、煙草中の惡硝酸鹽、堆積醱酵の際發生する熱量とが、今一層詳しく往つて木邦の煙草名產地、其產額、煙草の種類、苗床管理法、耕耘及手入、煙草のモザイツク病の研究、乾燥法等を根掘り葉掘り知つて居るものは少ないだらう、否その專門家以外には知つて居るものは無いだらう、それを委しく書いたものは此書だ。（日本新聞）

女子高等師範學校教授 野口保興先生著

世界經濟地理原料編

美本全一冊 紙數二百八十餘頁
▲密畫七十餘挿入
定價金壹圓
郵稅金拾錢

○總論 ○分布編 ○加工編 ○交換編の四冊近刊

先生本書の緒言に記して曰く「實業思想を養成し生業の進步富力の增加生活の改良等に資する上に於て本書が多少の便宜を與ふるを得ば云々」實に本書は先生の一大抱負に基ける新著たり而して印行上の都合に依りて全部を總論と分布、原料、加工、交換の四編とに分ちて發刊することゝ成りて茲に原料編の出版を世に告ぐるに至れり本編は獵產、林產、農產、畜產、鑛產、水產等に關する物產辭典とも云ふべき有益の書たるは今更喋々するを要せざるべし

農科大學助教授農學士麻生慶次郎先生著

植物生理化學

美製本全一冊
定價金七拾五錢
郵稅金拾錢

本書は植物生理化學の大要を網羅し動物化學と相對照して論じたる珍書にして著者が曩にドクトル、ロイプ氏の勸に從ひ英文を以て編纂したるものを飜譯し且つ大に增訂を加へたるものなり各章には一々實驗法を詳記し卷末には各實驗に要する材料、器械、藥品等を章を分ちて附記せり尙も農學、動植物學、化學、生理學等を修むる者の座右に欠く可からざる良書なり

農科大學助教授農學博士澤村眞先生編

新編動物化學

美製本全一冊
定價金七拾五錢
郵稅金八錢

農科大學助教授農學博士鈴木梅太郎先生著

肥料學原理

美製本全一冊
定價金六拾錢
郵稅金八錢

農科大學教授農學博士橫井時敬先生著

農業新書

美製本全壹冊
定價金
郵稅金

農科大學助教授農學士池田伴親先生著

園藝果樹論

美製本全三冊
定價金
郵稅金

第一卷果樹生態論

農科大學助教授農學士上野英三郎先生著

最近耕地整理講義

美製本全壹冊
定價金
郵稅金

帝國大學農科大學教授 理學博士佐々木忠次郎先生著

柘蠶之飼育

全一冊圖書貳葉挿入
定價金三拾錢
郵稅金四錢

桑樹ありて蠶兒あり桑樹なければ蠶兒なし故に兩者其一を缺けば收繭なし然るに先生多年の經驗と忍耐とに依り今や柘葉にて育蠶することを發見せられ良繭を收むることを得らる柘には疾病少く如何なる瘠地陰地等にても容易に栽培することを得柘蠶には蛆なし故に柘蠶を育するに至らば蛆害は其跡を絶ち蠶業上一大改良を見るに至らん蓋し本書小なりと雖も柘、柘蠶、柘繭等を丁寧論述して洩すことなし苟も育蠶に忠實なる諸彦は百讀すべき近來稀有の珍書なり

生絲檢査所技手德田實也先生著

新編 普通養蠶法

附 女子蠶業のすゝめ

美製本全一冊
紙數二百余頁
定價金六拾錢
郵稅金八錢

蠶業をして眞に農家の副業的に發達普及せしめんと欲せば須らく先づ農家の婦女子をして養蠶の理と法とを會得せしめざるべからず本書は平易簡單を旨とし行文修飾を去り實用的文字に專ら心を注ぎて記述せり故に少しく文字あるものは容易に讀む事を得べし

高等師範學校教授農學士佐々木祐太郎先生校閲
山口縣師範學校教諭　工藤　齊先生編

高等小學　農業科教授法

美製本全一冊
定價金六拾錢
郵稅金八錢

小學校に於ける農業科は奈何なる目的を以て教授すべきか是れか教材の選擇配列には奈何なる注意を要すべきか等苟も小學校に於ける農業科の教授上注意すべき問題は皆本書に於て之れを説明して洩す所なし

農學博士　玉利喜造先生閲
兵庫縣川邊郡農事試驗場技師　小田鬼八先生著

實驗　梨樹栽培全書

全一冊
石版極彩色四葉及圖畫數十挿入
定價金四拾錢
郵稅金六錢

（次目）
○緒言　○沿革　○用途及販路　○氣候及地勢　○土質　○繁殖　一、粘木仕立　二、嫁接　○種類　○栽植　一、方法　二、耕耘　三、保護　○樹形　○肥料　○果實の保護及採收　○貯藏　○收支　○問作　○損害　一、病害　二、蟲害　○附錄等

農事試驗場昆蟲部長農學士小貫信太郎先生
農事試驗場技師米國理學士桑名伊之吉先生共著

昆蟲採集製作法

本書先づ總論に於て昆蟲外部の構造及發育の變態を記し各章に於て昆蟲採集、採集旅行、昆蟲の分類、索引表、昆蟲標本製作、器具及藥品、貯藏法、昆蟲の飼育法等を各節各項に細別し行文平易簡潔に詳述せらる加ふるに數多の密畫を以てせり著者は斯界の大斗多年研究の決果本書を公にせられたり昆蟲學自習者若しくは昆蟲初步を教授せらるゝの士乞ふ座右に供へられよ

美本全一冊
▲密畫七十餘挿入
定價金六十錢
郵稅金八錢

理學博士石川千代松先生序
理學士宮島幹之助先生閱
武田丑之助先生著

動物採集保存法

本書は著者が多年實地經驗せるものを基礎とし歐米の著書に就き其方法簡單且結果佳良なるものを以て補正したるものにして先づ必要なる器械藥品より始め各種動物の採集法、本剝製、假剝製、骨骼採取法、乾製藥液保存する方法等は勿論解體及解剖標本に至るまで數多の圖を挿み平易の文章を以て詳述せらる博物學研究者狩獵者等の缺くべからざるの書なり

美本全一冊
▲圖版五葉挿圖五十餘
定價金六十錢
郵稅金八錢

農事試驗場病理部長
農學士、理學士堀正太郎先生
農事試驗場技師農學士西田藤次先生　原圖

新撰

農作物病害圖

石版極彩色
定價金
郵稅金

農事試驗場
昆蟲部長農學士小貫信太郎先生原圖

新撰

昆蟲圖

石版極彩色
定價金
郵稅金

第五回博覽會に於て農商務省出品の農作物病害圖及害蟲圖は其寫生の妙彩色の美眞に活動せる實物を觀るが如く頗る世間の好評を博せり依て其原圖竝に今回米國セントルイ萬國大博覽會へ出品の原圖をも乞ひ尚ほ其出品圖の遺漏を補修して一層完美なる極彩色石版刷となし順次出版することゝなせり

理學士宮島幹之助先生著

蝶類圖說

極彩色印刷頗鮮明
美製本全壹冊
定價金
郵稅金

農學士小貫信太郎先生著

昆蟲圖譜

美製本全一冊
近刊

農學士、理學士堀正太郎先生
農學士　西田藤次先生共著

農作物病害圖譜

美製本全一冊
近刊

女子高等師範學校教授 野口保興先生著

教室適用 世界大地圖

●全五軸

荷造費及遞送費は下記定價外に申受くべし

あじあ洲	横七尺 縦六尺六寸	特製四圓七拾錢	並製參圓七拾錢
あふりか洲	横六尺六寸 縦六尺	特製四圓五拾錢	並製參圓五拾錢
よーろっぱ洲	〃 〃	〃 〃	
あめりか洲	横五尺五寸 縦七尺五寸	〃 〃	
おせあにあ洲	横七尺四寸 縦五尺七寸	〃 〃	

同先生著

教室適用 帝國大地圖

●全六軸（比例尺三十万分一）

荷造費及遞送費は下記定價外に申受くべし

本州中部	横六尺二寸 縦六尺一寸	特製四圓五拾錢	並製參圓五拾錢
本州北部	近刊		
本州西部	近刊		
九州、琉球	近刊		
北海道	近刊		
臺灣	横三尺九寸 縦五尺七寸	特製參圓五拾錢	並製貳圓五拾錢

理學士　宮島幹之助先生著

▲精巧美麗天然彩色大版圖版貳拾貳葉

日本蝶類圖說

全一冊　定價金四圓　遞送費金拾五錢

我邦近來漸く蝶類研究に身を委ぬる人々の增加するの氣運に際し未だ此等の篤志家の指敎者となり又は探究の階梯となるべき書は殆んど皆無と云ふべし弊舖深く之を慨し特に宮島先生に乞ひ此書を發刊す、先生は嘗て北は北海道より南は琉球に到る迄親しく蒐集せられたる標本に原づき多年此種の研究に從事せられ造詣頗る深き事學者間に定評あり本書は總論と各論とより成り總論には蝶類の形態、生態、飼育法、採集法、保存法等を著者獨特の流暢なる筆を以て懇切叮嚀に叙し各論には百數十種の蝶類に就き各の特徵を頗る詳密に述べられ本邦に產する蝶類は悉く網羅し盡し終りに各種天然色彩色刷の圖版を添え且つ卷尾には附錄として蝶類科屬名檢索表、分布表等を加へられたれば斯學を研究せんとする人には缺くべからざる唯一の寶典なり